

## 臨床研究へのご協力をお願い

### 【自主臨床研究表題名】

薬剤の使用過多による頭痛の治療における漢方薬の有効性について

### 【研究目的】

薬剤の使用過多による頭痛（Medication-overuse headache：MOH）は難治性で、確立された治療法はありません。原因薬物を完全に中止してからの約1週間は、反跳頭痛が出現しMOHからの離脱に苦慮することが多いといわれています。漢方薬は頭痛の随伴症状を和らげ、依存を形成しません。今までMOHの治療に漢方薬を使用した症例報告はありますが、症例集積研究は行われていません。そこで、MOHの初期治療として漢方薬を用い、漢方薬がMOHの離脱成功に寄与するかどうかを後向視的に検討することに致しました。

### 【研究方法】

2017年6月から2020年12月までに当院の頭痛外来を初めて受診したMOH患者さんを対象とします。そのなかで月経、ストレスや低気圧で悪化する、肩こりなどといった随伴症状を伴い、漢方薬を使用している患者さんを調査します。調査する内容は、MOHからの離脱成功率（乱用薬剤の中止から2か月以内に頭痛治療薬の使用が月10日以内になり、頭痛が改善した割合）、漢方薬の処方内容、年齢、性別、MOHの原疾患、MOHの原因薬剤、予防薬の使用状況などです。これらの調査項目を電子カルテから集積します。なお、本研究は八戸平和病院倫理委員会の承認を得て行います。

### 【個人情報の取り扱い方法】

利用する情報からは、名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### 【研究参加による利益・不利益】

電子カルテのデータのみを用いて研究を行うため、患者さんに負担はかかりませんし、不利益はありません。また、データを提供いただいた患者さんに特に利益は生じません。

### 【お問い合わせ】

研究責任者：石川理恵（八戸平和病院 麻酔科・ペインクリニック）

電話：0178-31-2222